

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者            L 山本、井谷、西尾、宮島

2. 山城・ルート    大峰・葛川本流

3. 交通手段        車

## 4. 行動記録

スタート地点 07:55-09:14S 字淵上流 09:16-10:06 幅広い 1.5m 滝-11:07 大渡 11:36-12:39 一ノ滝  
-12:55 二ノ滝 13:18-14:04 下葛川 14:06

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

- ・当初の予定よりも上流側から入溪。15mの懸垂下降で入溪になったのは予定外。おそらくもっと下流から入溪すれば懸垂下降は不要。
- ・その他は予定通り

### b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

- ・山行中はなし
- ・遡行終了点から入溪地点に車で戻る際に、切り返しをミスって前輪を側溝に落としてしまった。全員で押して脱出しないといけないかと思ったら、運よくバックで脱出できた。

### c その他、ルートに関する情報・気がついた事等

- ・今年は雨が多かったためか、葛川もそうとうぬめっていて、特に水中の赤ごけがぬめっており多少こけた。
- ・S字淵の核心は左に飛び移ってから登って突破。水流は強かった。
- ・高巻きは、一の滝、二ノ滝を左岸巻きの2回のみ。
- ・魚はそこそこいる（アブラハヤでもアマゴでもない。ウグイか?）
- ・おくとろ温泉 700円
- ・5年前に住人がいた大渡の一軒家は、今回は木の板が打ち付けられており無人になっていた。いろいろ調べてみたら川沿いの道が開かれる前は山道が主で、葛川左岸上部には杉原という廃村があるそうで、youtubeにも廃村探索動画がある。

## 6. 感想

ヤマレコ <https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-2491966.html>

梅雨も明け暑いため、Takizawahotalさんの提案で葛川に泳ぎに行った。

（当初はIさん、YさんがY谷へ行く予定で、それに誘ってもらったのだが、2017/7に行ったときに大変面倒で2泊3日(予備日使用)かかったこととお知らせしたら、変更になった）

自分が昔に行ったときの入溪地点はもっと下流だったが、2年前に自分以外の3名で行ったときの

入渓地点はより上流とのことで、適当な地点から下る。が、すぐに行き詰ってしまったために、懸垂下降で入渓。しかも途中は空中懸垂でしょっぱなから面倒なことになる。ザイルを回収したときに岩を落下させてしまったが、全員しっかりと退避していたので大丈夫だった。

降りた地点はいきなり S 字淵入口。いきなりの泳ぎだが、この出口が最大の核心。I さんが右から泳いで左に移り、そのまま左側の棚を登って突破。後続は全員ロープで引き上げてもらう。自分も試しに右から登れないか試したが流れが早くて無理。さらに同様に左に飛び移ったが、水流で壁に押し付けられて息がしづらい状態になって、辛くも下流に逃げて生還。素直にロープを貰って引っ張って登る。一步間違えればこんなところでも溺れるので、注意が必要。

そのあとも③2 条 3m ともう一か所は水流が強くて怖かったがなんとか突破。昼前にちょうど中間の大渡の河原で昼休憩をして一息つく。前回の 5 年前はこの大渡の一軒家に住民が居て洗濯をしていたが、今回は家に木の板が打ち付けられており誰も住んでいない様子。この上にある神山の集落や終了点の下葛川の集落など人は年々減る一方だろう。

後半は前半よりも泳ぎが少なくて楽。一の滝の下の小滝はなんとか右岸に登ることができたが、一の滝自体が突破できないので、戻って左岸を巻く。その後はナメが続き、二ノ滝がハイライト。ここで記念撮影をして左岸を小さく巻く。足元は安定しているが狭いバンドなので注意。そのあとはひたすら歩いて終了。

沢からあがったら強烈な日差しと焼けるようなアスファルト。回していた車で入渓地点に戻ろうと公民館のところで切り返したら、ミスって左前タイヤを側溝にはめてしまった。ああやっちゃったかあと思ったら、運よくバックで脱出できた。

その後は温泉に入って、帰路へ。眠くなってしまい運転を交代してもらう。いつもの本店にて、今回は鶏肉の四川風定食(台湾ラーメン)980 円(税込み)をチョイス。結構ぎりぎり危なかったがなんとか完食。灘駅に送ってもらい電車で帰宅。

泳ぎの沢だったためか、先週の堂倉ほどの疲労ではないもののやはり疲れて帰宅してすぐに寝た。

<反省>

今回はパドルグローブで泳ぎはうまく進んだが、棚に乗りあげるところではパドルグローブではうまく岩がつかめないのが苦労した。パドルグローブもよしあし。

報告者氏名 宮島 2020 年 8 月 13 日  
以上